

2008年度
統計関連学会
連合大会
市民講演会

私たちの暮らしと統計

～ 統計は国民の共有財産 ～

(配布資料)

平成20年9月7日

総務省統計局 川崎 茂

注 この資料に引用した統計は、特に断りのない限り、総務省統計局のホームページを出典としています。

目次

1 はじめに

- ニュースに登場する様々な統計
- 私たちの暮らしを映す統計を見てみよう

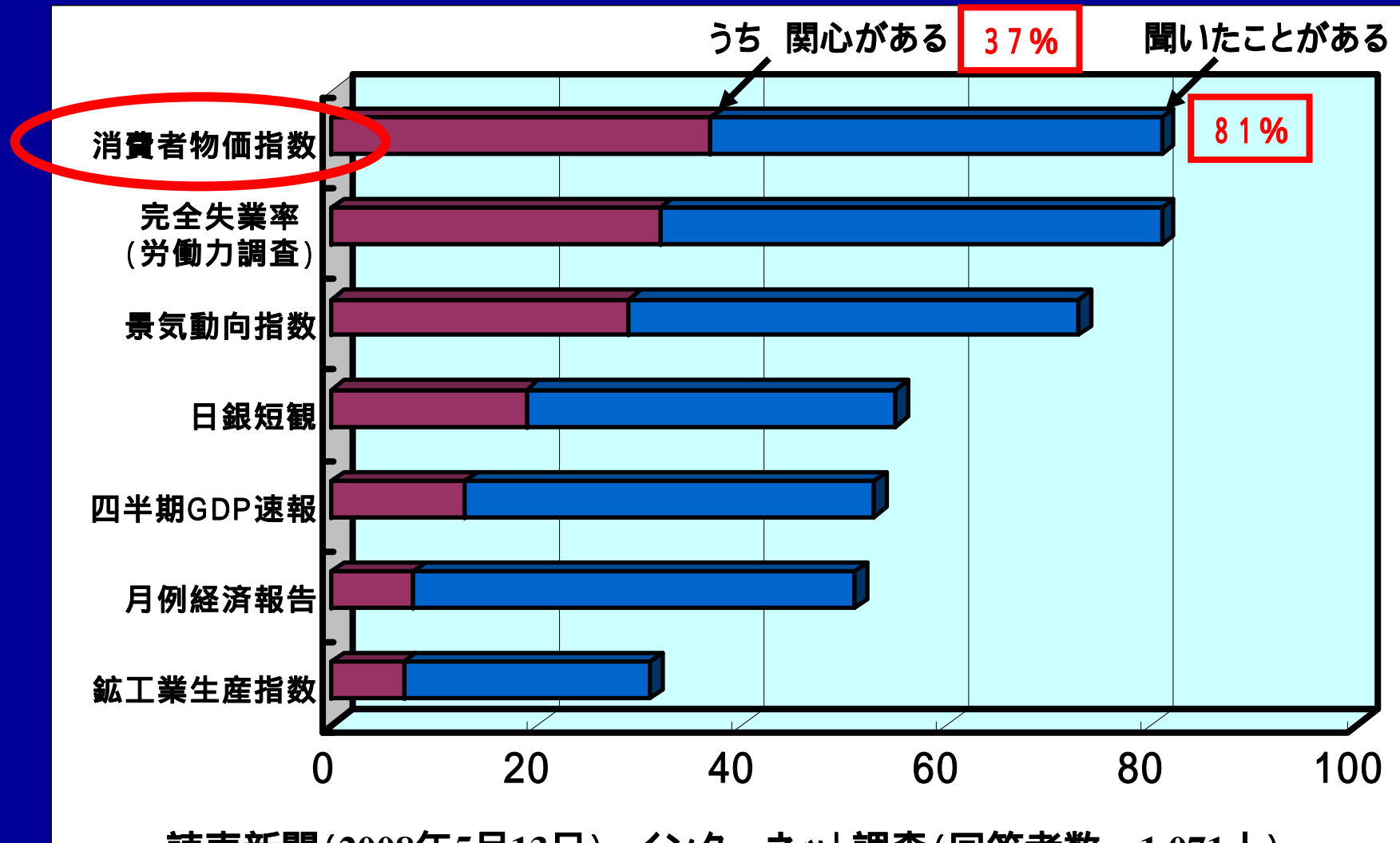
2 統計の見方・使い方

- 消費者物価指数 - 実感と統計の違いはなぜ起きる？
- 家計調査 - 物価上昇の家計への影響は？
- 様々な統計をよりよく活用するために

3 国民の共有財産としての統計

- 社会で広く活用される統計 - 統計の利用例
- 「統計情報サイクル」と国の役割
- 統計を社会で活かすために

どの統計を知っていますか？



読売新聞(2008年5月13日) インターネット調査(回答者数 = 1,071人)

2 統計の見方・使い方

- **消費者物価指数で見る物価の動き**
実感と統計の違いはなぜ起きる？
- **家計調査で見る家計消費の動き**
物価上昇の家計への影響は？
- **様々な統計をよりよく活用するために**
統計の見方・使い方、探し方

(1) 消費者物価指数で見る物価の動き

● 消費者の購入する商品・サービスの価格の変化を測定

基準年の「買い物かご」を固定し、その購入に要する費用の変化を測定。

「買い物かご」の中身は、家計調査のデータに基づいて決定。

商品・サービスの価格を、基準年を100とした比率で表し、重み付きで平均。

小売物価統計調査により全国2万8千店舗から約600品目、約24万価格を収集。

同じ品質の商品・サービスを追跡するため、銘柄・仕様を厳密に規定して調査。

パソコン、デジタルカメラについては、POSデータ(レジの売り上げデータ)を活用。

指数の作成方式は、国際基準(ILO = 国際労働機関)に準拠。

● 基準年は5年ごとに更新(西暦の0、5の年。)

基準改定では、調査品目、ウェイトデータを最新の状況に更新。(現在は2005年基準)

● 消費者物価指数は毎月末に公表

通常、26日を含む週の金曜日の午前8時30分に、前月の全国指数と当月の東京都区部の
中旬速報値を公表。(記者発表、インターネット、印刷物)

同日の閣議に報告。

● 消費者物価指数は「経済の体温計」

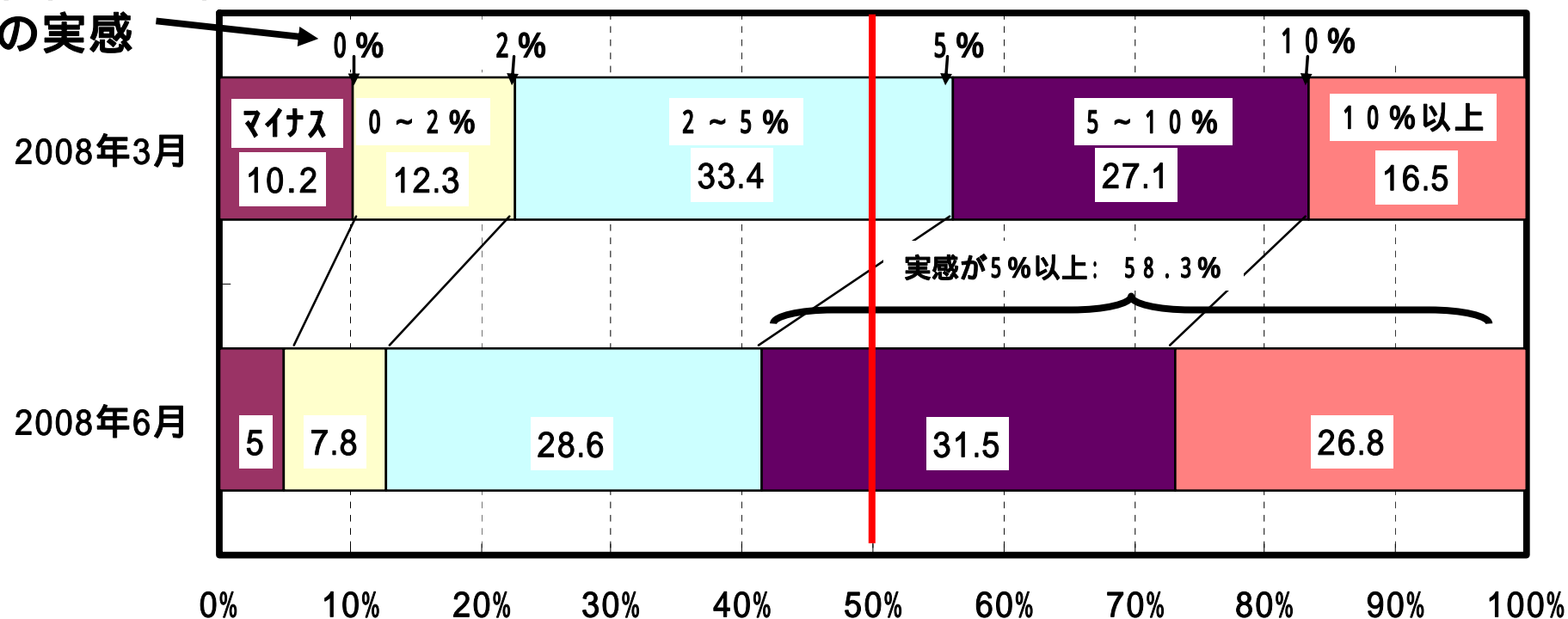
経済・金融政策、年金額の改訂、物価連動国債などに活用。

物価上昇率が5%以上と感じている人は過半数

物価上昇率(年率)を何%程度と感じているかという人の構成比

物価上昇率
の実感

実感の「中央値」



日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」平成20年3月、同6月調査

実感と統計の違いはなぜ起きる？

印象に残りやすい値上げ、見落としがちな値下げ
頻繁に購入するもの × めったに買わないもの
値上げ品目のウェイトは案外小さい

地域による値上げの影響の違い

例 北海道、東北はガソリン・灯油を多く消費

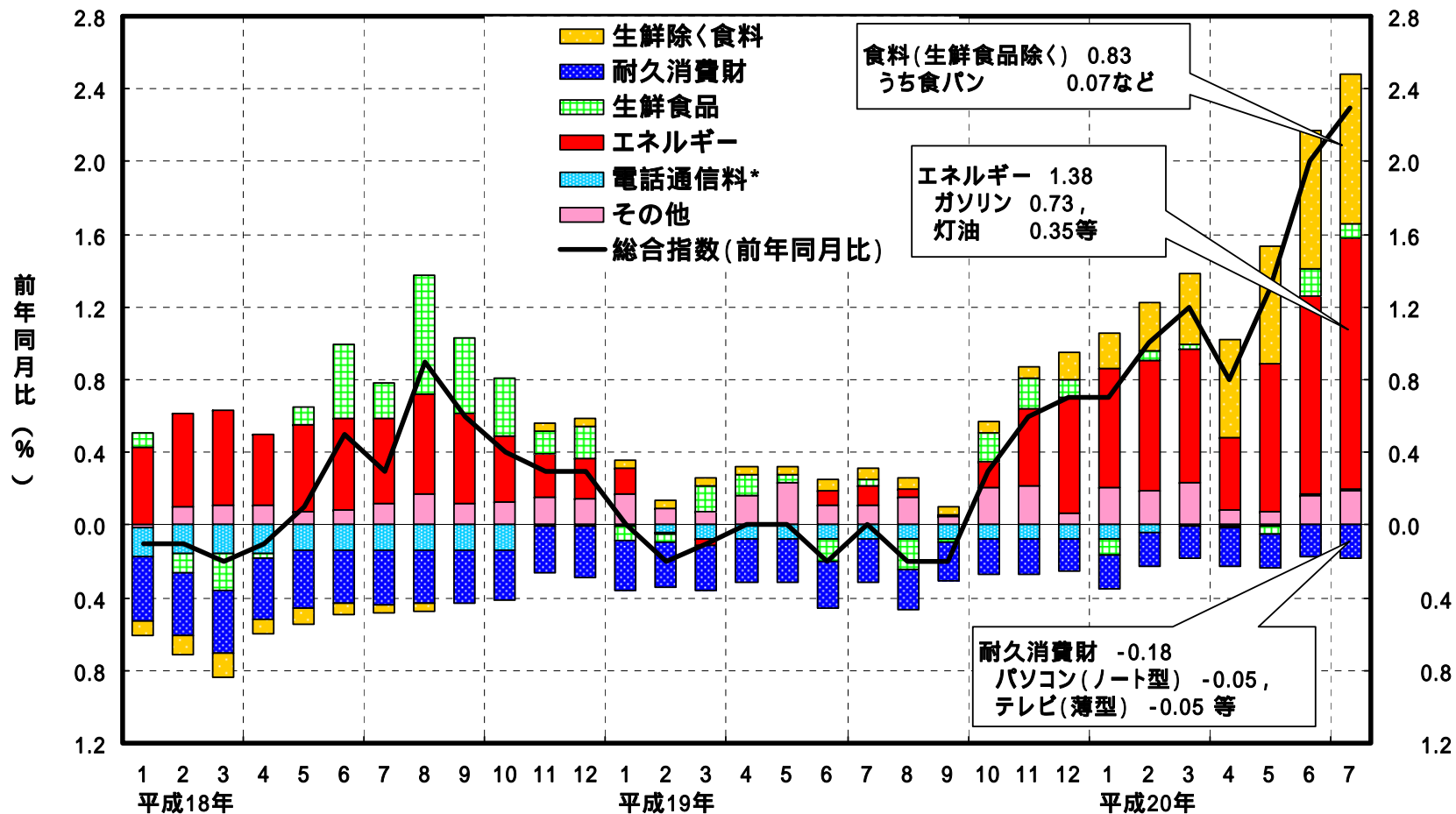
消費パターンの個人差による値上げの影響の違い

例 低所得の世帯では食費のウェイトが高い

税金、社会保険料は「消費」の範囲外

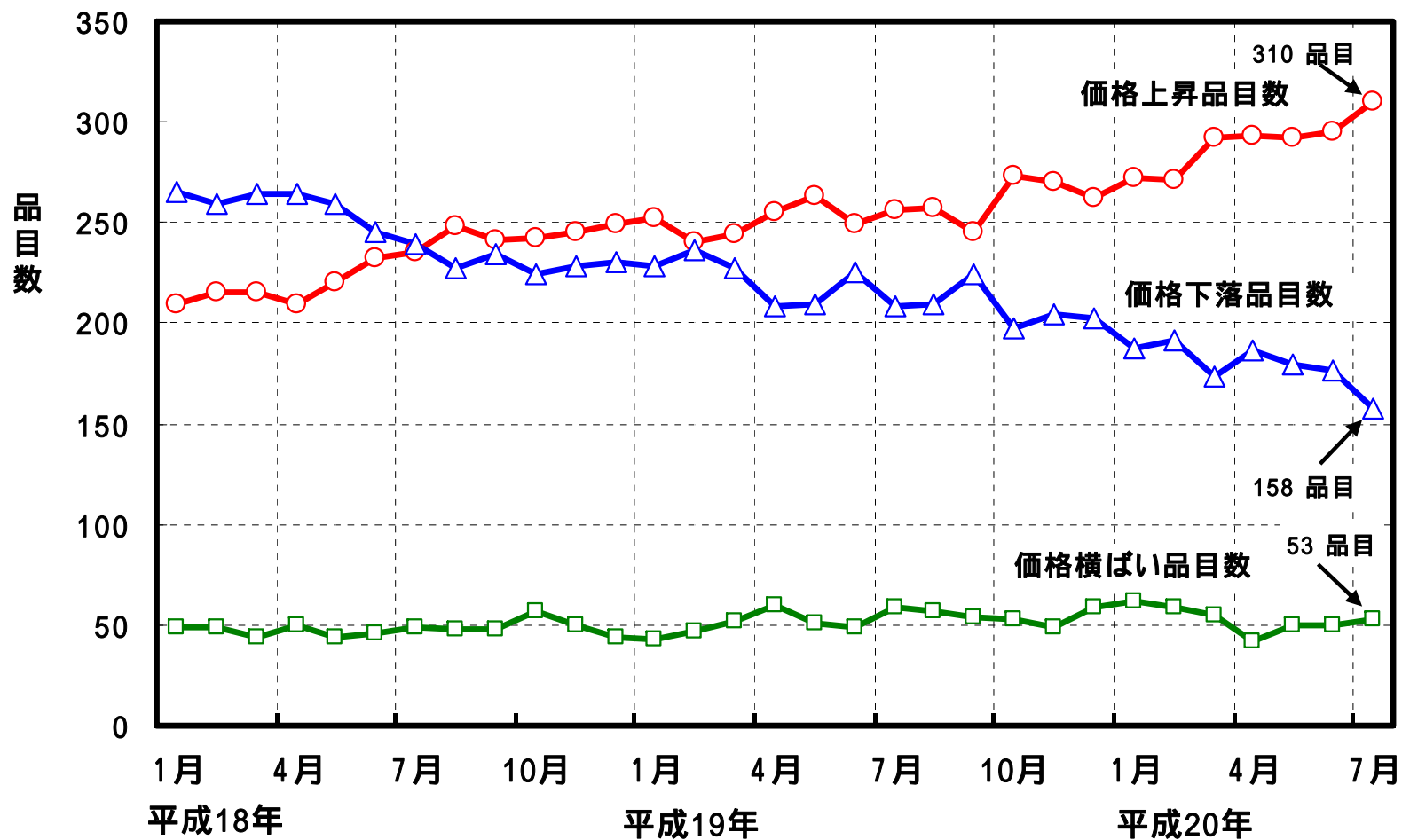
エネルギーと食料の価格が物価上昇の要因

消費者物価指数(総合)の対前年同月上昇率に対する要因別の寄与度



過半数の品目で価格上昇、約150品目で下落

消費者物価指数(全国) 対前年同月比の上昇、下落、横ばいであった品目数の推移



値上げのあった主な品目(上位30位) 平成20年7月 全国

	品 目	前年同月比 (%)	寄与度		品 目	前年同月比 (%)	寄与度
1	灯油	53.2	0.3531	16	バター	16.2	0.0029
2	自動車バッテリー	36.4	0.0111	17	うなぎかば焼き	15.3	0.0288
3	スパゲッティ	32.0	0.0086	18	はくさい	15.2	0.0024
4	にんじん	31.6	0.0182	19	ながいも	14.9	0.0050
5	ガソリン	28.7	0.7298	20	指輪	14.7	0.0151
6	チョコレート	27.6	0.0530	21	あんパン	13.6	0.0197
7	チーズ	22.7	0.0053	22	えだまめ	13.6	0.0162
8	食用油	20.9	0.0182	23	携帯電話機	13.3	0.0048
9	即席めん	20.6	0.0282	24	カレーパン	13.0	0.0291
10	食パン	20.1	0.0749	25	マーガリン	12.7	0.0025
11	ばれいしょ	19.5	0.0102	26	かぼちゃ	12.6	0.0070
12	ごぼう	19.5	0.0056	27	ポリ袋	11.9	0.0058
13	ビスケット	18.5	0.0199	28	鶏肉	11.8	0.0348
14	小麦粉	18.1	0.0049	29	ドーナツ	11.3	0.0215
15	落花生	16.3	0.0064	30	わかめ	11.2	0.0068

値上がりした品目の寄与度の合計 = 2.93

2 統計の見方・使い方 - 消費者物価指数

どんな品物が値下がりしたか？

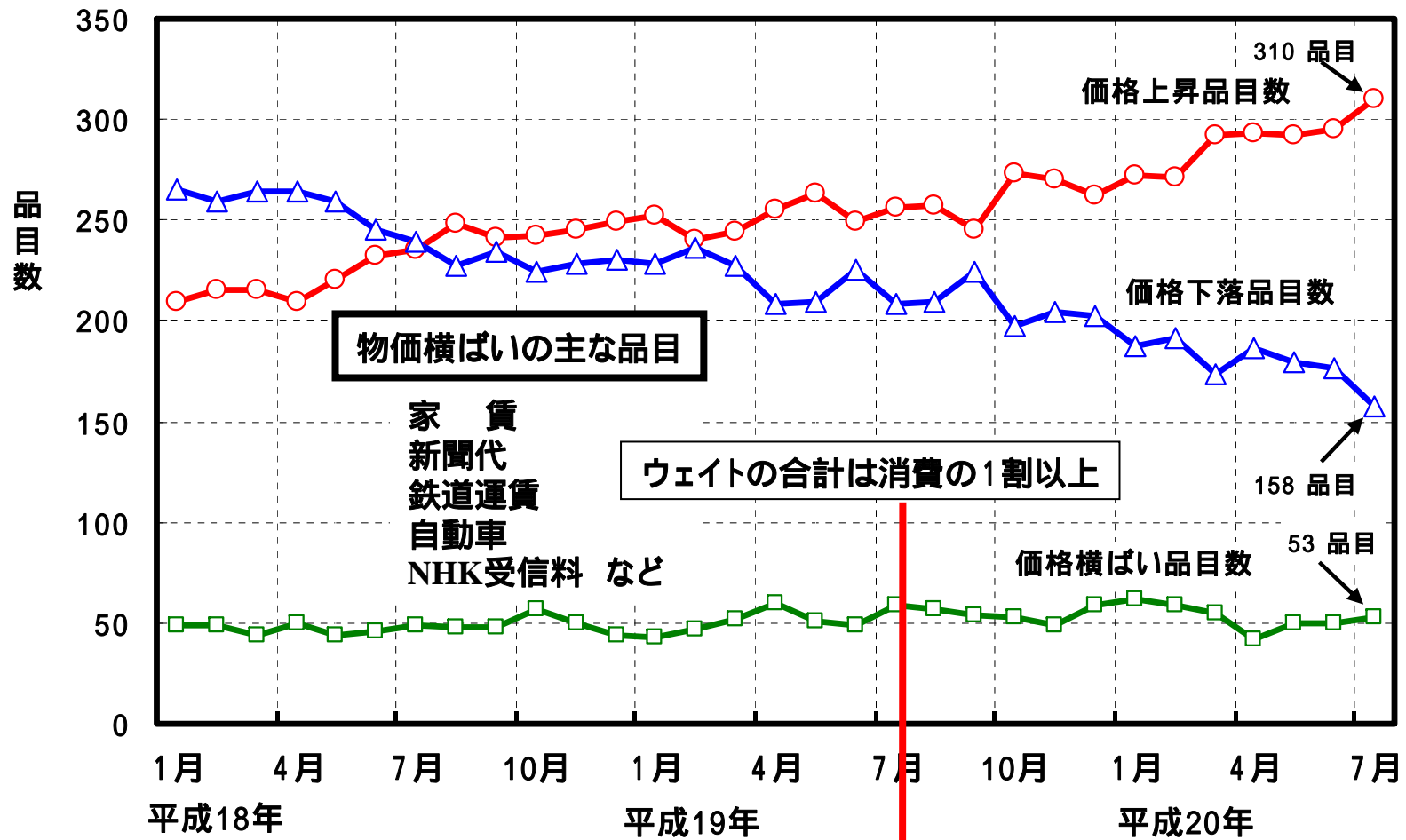
消費者物価指数 - 値下がりした品目(下落率の上位75番目まで) - 平成20年7月 対前年同月比

順位	品目名	対前年 同月比 (%)	総合への 寄与度	順位	品目名	対前年 同月比 (%)	総合への 寄与度	順位	品目名	対前年 同月比 (%)	総合への 寄与度
1	パソコン(ノート型)	-42.8	-0.0507	26	台所用洗剤	-5.3	-0.0056	51	柔軟仕上剤	-3.2	-0.0011
2	カメラ	-30.1	-0.0130	27	婦人スーツ(春夏物)	-5.3	-0.0062	52	防虫剤	-3.0	-0.0008
3	自動車保険料(自賠責)	-26.6	-0.0815	28	カーナビゲーション	-5.3	-0.0065	53	ヘルスマーター	-2.9	-0.0026
4	オレンジ	-25.0	-0.0047	29	電気かみそり	-5.3	-0.0021	54	婦人上着	-2.8	-0.0056
5	テレビ(薄型)	-22.8	-0.0495	30	だいいん	-5.0	-0.0021	55	携帯オーディオ機器	-2.7	-0.0004
6	パソコン(デスクトップ)	-22.3	-0.0198	31	電気掃除機	-5.0	-0.0031	56	もち	-2.6	-0.0024
7	DVDレコーダー	-19.0	-0.0141	32	録画用DVD	-4.9	-0.0022	57	子供Tシャツ(半袖)	-2.6	-0.0009
8	きゅうり	-18.9	-0.0227	33	ケチャップ	-4.8	-0.0009	58	ふりかけ	-2.5	-0.0012
9	ビデオカメラ	-16.7	-0.0046	34	電気ポット	-4.8	-0.0011	59	スポーツシャツ(長袖)	-2.3	-0.0011
10	レタス	-15.2	-0.0158	35	ガステーブル	-4.8	-0.0024	60	婦人Tシャツ(半袖)	-2.3	-0.0030
11	ステレオセット	-13.0	-0.0026	36	えび	-4.5	-0.0071	61	帽子	-2.3	-0.0013
12	キャベツ	-11.9	-0.0101	37	グレープフルーツ	-4.4	-0.0011	62	胃腸薬	-2.3	-0.0021
13	ほうれんそう	-10.3	-0.0061	38	歯ブラシ	-4.4	-0.0016	63	コンタクトレンズ用剤	-2.3	-0.0011
14	固定電話機	-10.3	-0.0031	39	風味調味料	-4.3	-0.0027	64	プリン	-2.2	-0.0017
15	電気洗濯機(全自動)	-9.7	-0.0032	40	ビタミン剤B	-4.3	-0.0077	65	温水洗浄便座	-2.2	-0.0031
16	電気冷蔵庫	-9.3	-0.0118	41	ワイシャツ(半袖)	-4.2	-0.0013	66	照明器具	-2.2	-0.0012
17	電子レンジ	-8.6	-0.0026	42	血圧計	-4.1	-0.0020	67	男子靴下	-2.1	-0.0016
18	ゴルフクラブ	-7.3	-0.0036	43	テニスラケット	-3.9	-0.0005	68	ブレンド米	-2.0	-0.0034
19	パソコン用プリンタ	-7.1	-0.0013	44	もも	-3.8	-0.0075	69	スイートコーン缶詰	-2.0	-0.0003
20	さくらんぼ	-6.8	-0.0106	45	カーペット	-3.8	-0.0046	70	キウイフルーツ	-2.0	-0.0006
21	さんま	-6.6	-0.0023	46	電気アイロン	-3.7	-0.0002	71	毛布	-2.0	-0.0005
22	ミネラルウォーター	-6.4	-0.0048	47	ワンピース(春夏物)	-3.6	-0.0009	72	ブラウス(半袖)	-2.0	-0.0011
23	サッカーボール	-6.3	-0.0004	48	浴用剤	-3.5	-0.0017	73	コーヒー飲料	-1.9	-0.0020
24	紙おむつ	-6.1	-0.0073	49	歯磨き	-3.4	-0.0019	74	もち米	-1.8	-0.0005
25	男児ズボン	-5.7	-0.0036	50	りんごB	-3.3	-0.0011	75	婦人スラックス(ジーンズ)	-1.8	-0.0009

値下がりした品目の寄与度の合計 = 0.56

どんな品目で価格が横ばいだったのか？

消費者物価指数(全国) 対前年同月比の上昇、下落、横ばいであった品目数の推移



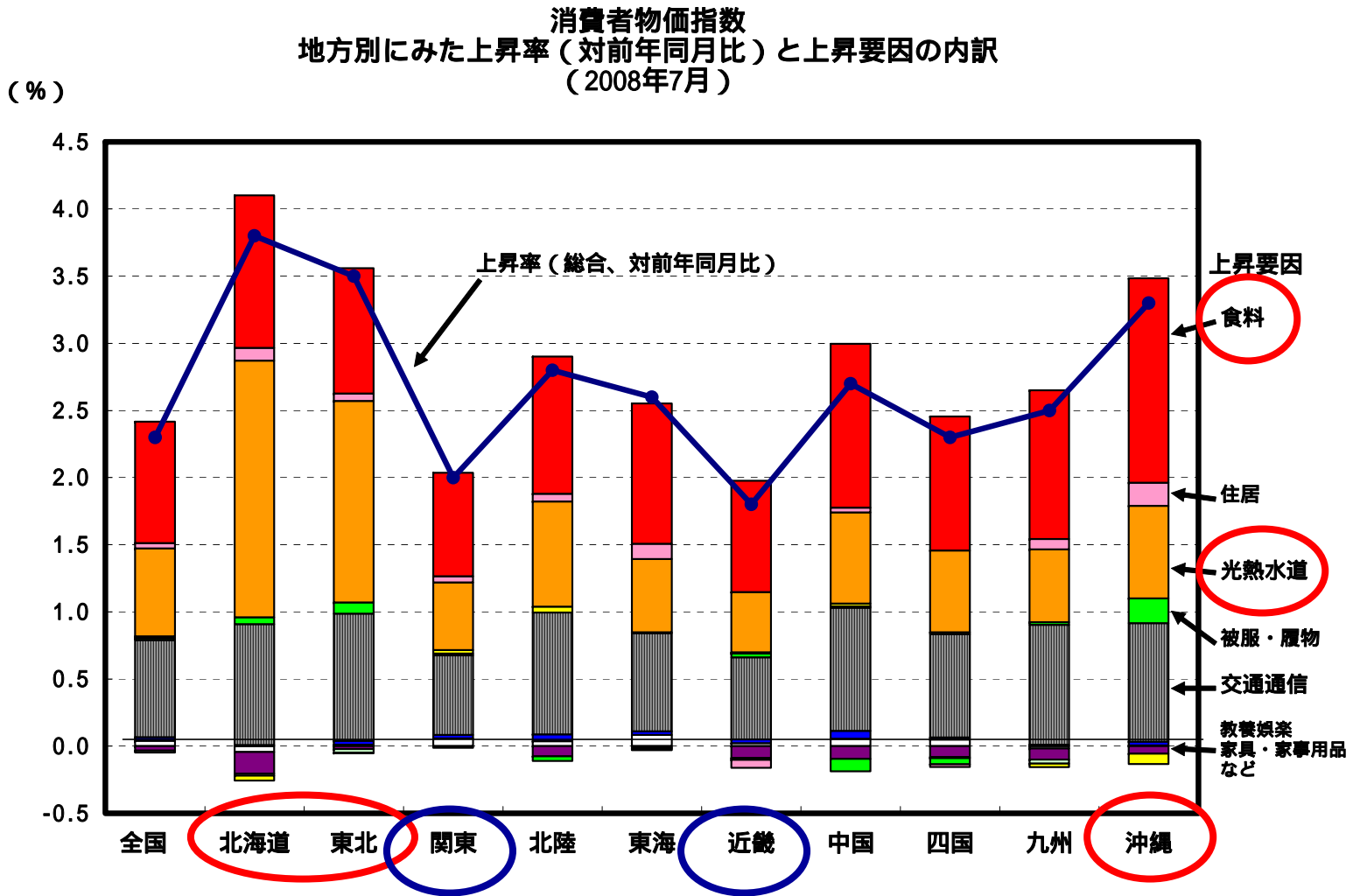
物価横ばいの主な品目

- 家賃
- 新聞代
- 鉄道運賃
- 自動車
- NHK受信料 など

ウェイトの合計は消費の1割以上

価格が横ばいの品目が物価上昇率の安定に寄与

地域によって異なる物価上昇の影響



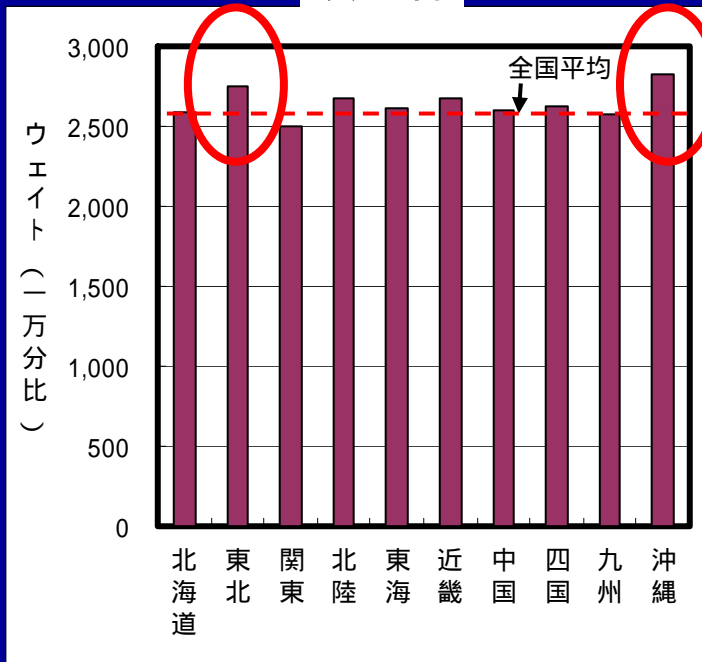
2 統計の見方・使い方 - 消費者物価指数

地方によって異なる「ウェイト」

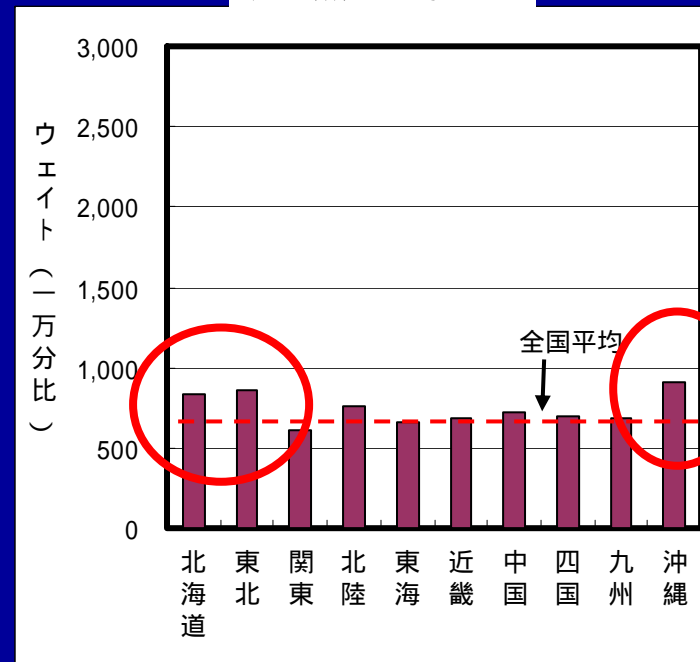
- 北海道、東北、北陸、沖縄で高い「光熱・水道」 -

平成17年基準消費者物価指数の地域別のウェイト
(各地方において、総合(消費支出全体)を10,000とした費目別の支出割合)

食料



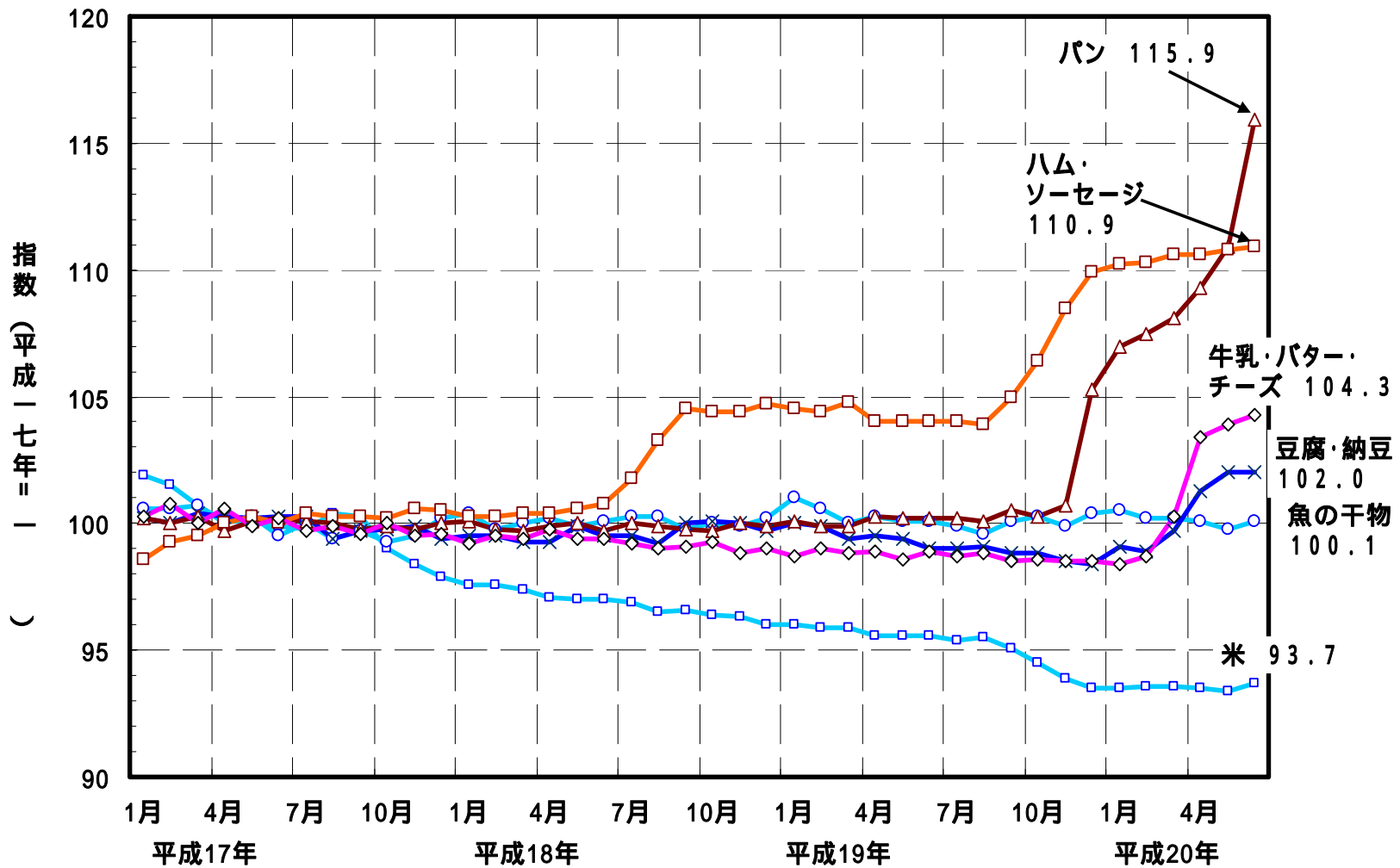
光熱・水道



- - - > 消費パターンの地域差によって物価上昇の感じ方が違う

食料にも、値上がり、値下がり品目がある。

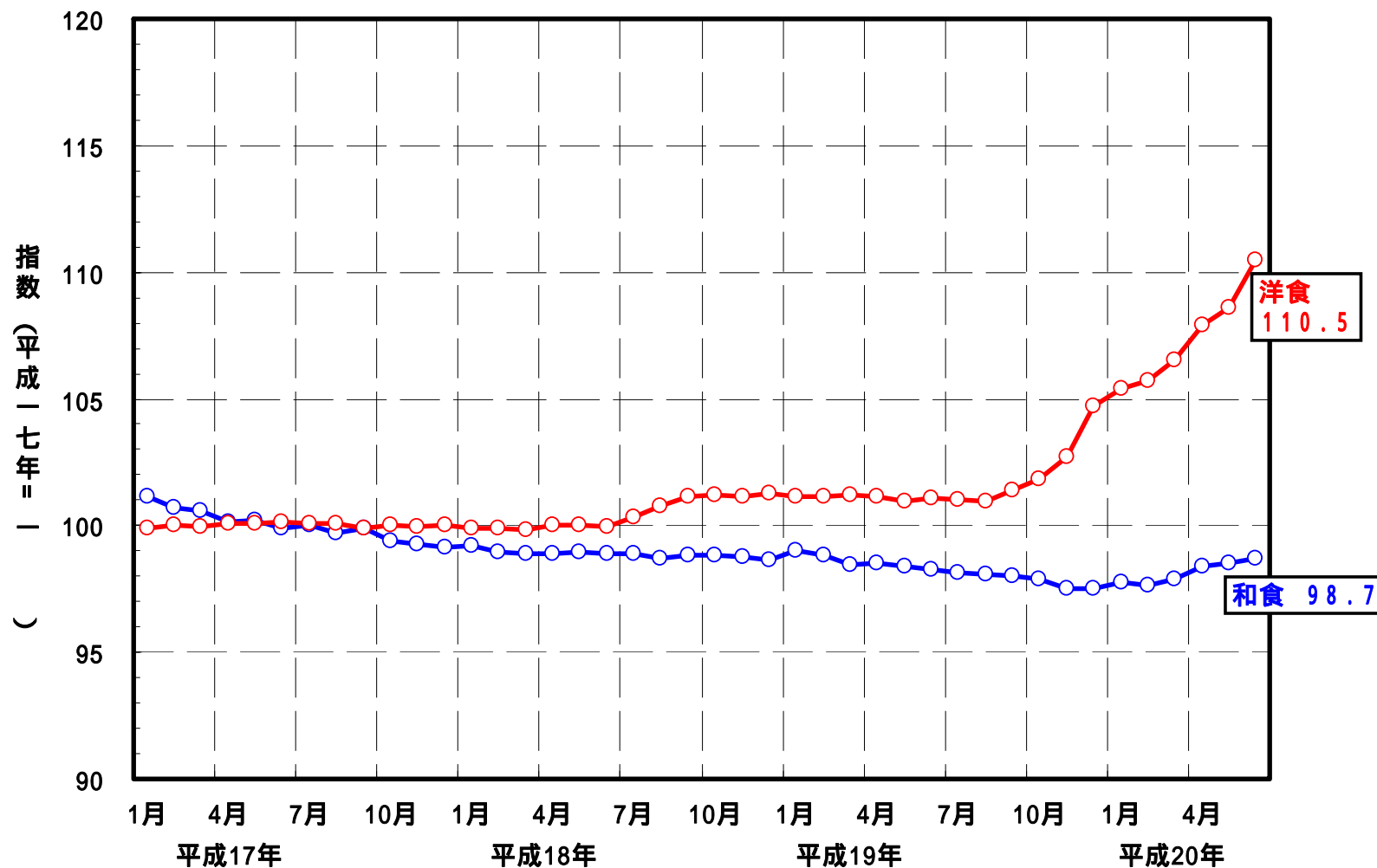
品目別にみた消費者物価指数の対前年同月比



(注) ハム・ソーセージ = 「加工肉」 牛乳・バター・チーズ = 「牛乳・乳製品」 豆腐・納豆 = 「大豆加工品」 魚の干物 = 「塩干魚介」

朝ごはんは、和食のほうが洋食より安上がり！

和食・洋食に関する消費者物価指数の対前年同月比(試算値)



(注) ここで、洋食・和食の指数は次のように計算した。 洋食 = パン + 加工肉 + 牛乳・乳製品 和食 = 米 + 大豆加工品 + 塩干魚介

以上をまとめると...

実感は、値上がりした品目の影響を受けやすい

印象に残りやすい値上げ、見落としがちな値下げ

消費パターンの地域差により値上げの感じ方が違う

エネルギー、食料などのウェイトの地域差は大きい

消費パターンの個人差により値上げの感じ方が違う

食生活などライフスタイルによって購入する物が違う

(2) 家計調査で見る家計消費の動き

家計の収入・支出の実態を把握する統計調査

世帯の収入・支出の総額と詳細な内訳の統計を毎月公表。(四半期、年、年度結果も公表。)

昭和38年以降、現在と比較可能な統計系列が利用可能。

行政では、経済情勢の判断、各種の政策立案、各種白書での社会・経済分析などに利用。

GDPの推計や消費者物価指数のウェイトなど他の重要な統計の基礎データとして利用。

民間でも、景気動向の判断、経営計画、マーケティングなどに活用。

毎月、全国の約9千世帯を無作為抽出して調査

全国168市町村から、二人以上世帯 約8000世帯、単身世帯 約700世帯を調査。

二人以上世帯は長期の系列が利用可能。単身世帯の調査は平成14年に開始。

調査対象世帯が毎日記入する家計簿を毎月集計して公表。

二人以上世帯は家計簿を6ヶ月間記入、単身世帯は3ヶ月記入。

調査は都道府県の統計主管課を通じて実施。

関連する統計調査として、家計消費状況調査も実施。(購入頻度の低い支出を重点把握。)

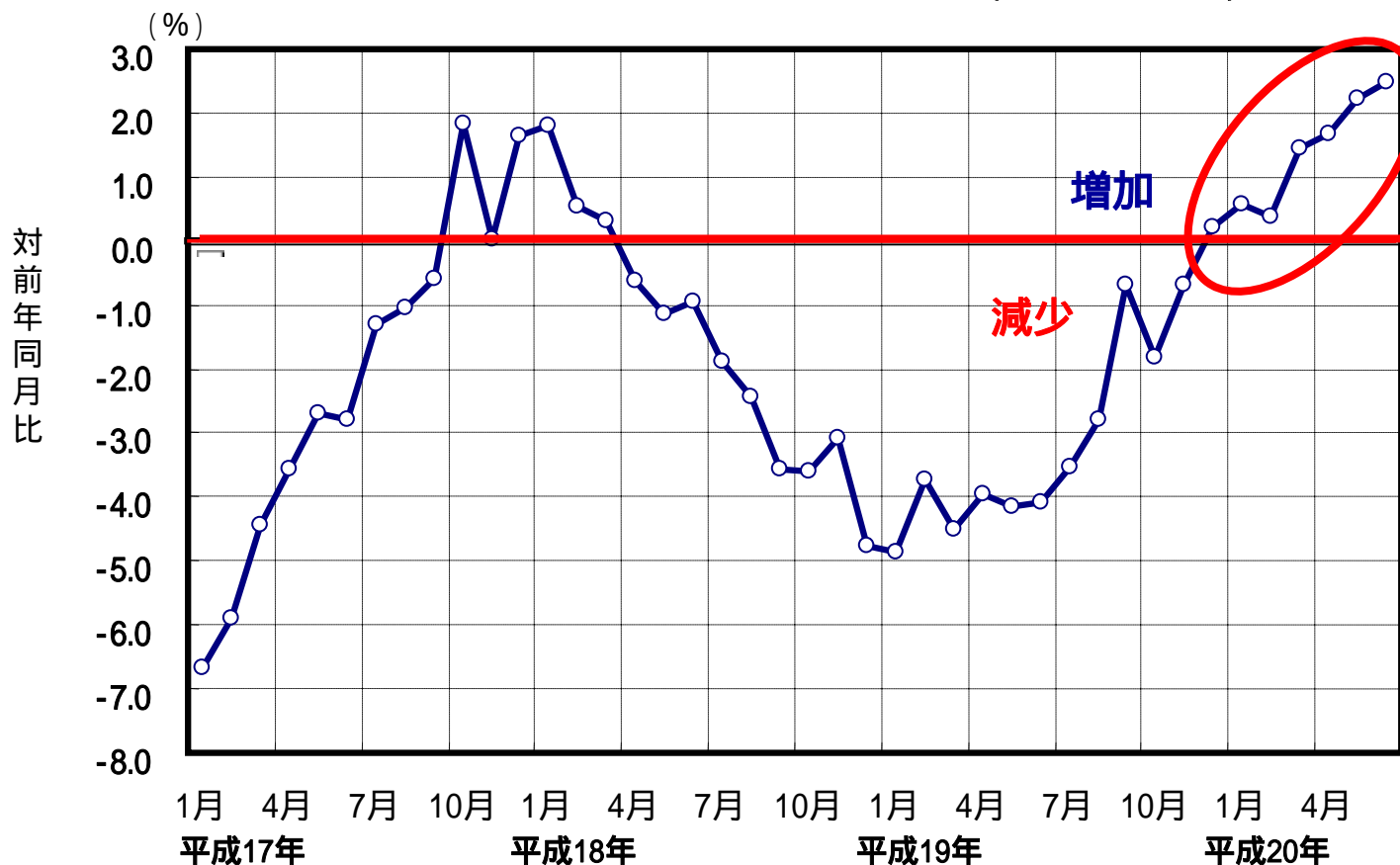
毎月の結果は翌月末に公表

月末の火曜日又は金曜日の午前8時30分に公表。(記者発表、インターネット、速報資料)

本資料では、特に断りのない限り、二人以上世帯に関する統計を引用しています。

物価上昇の中で、価格の安定している米の消費が増加 米の購入数量の前年同月比は、平成19年12月以降、プラスに転じている。

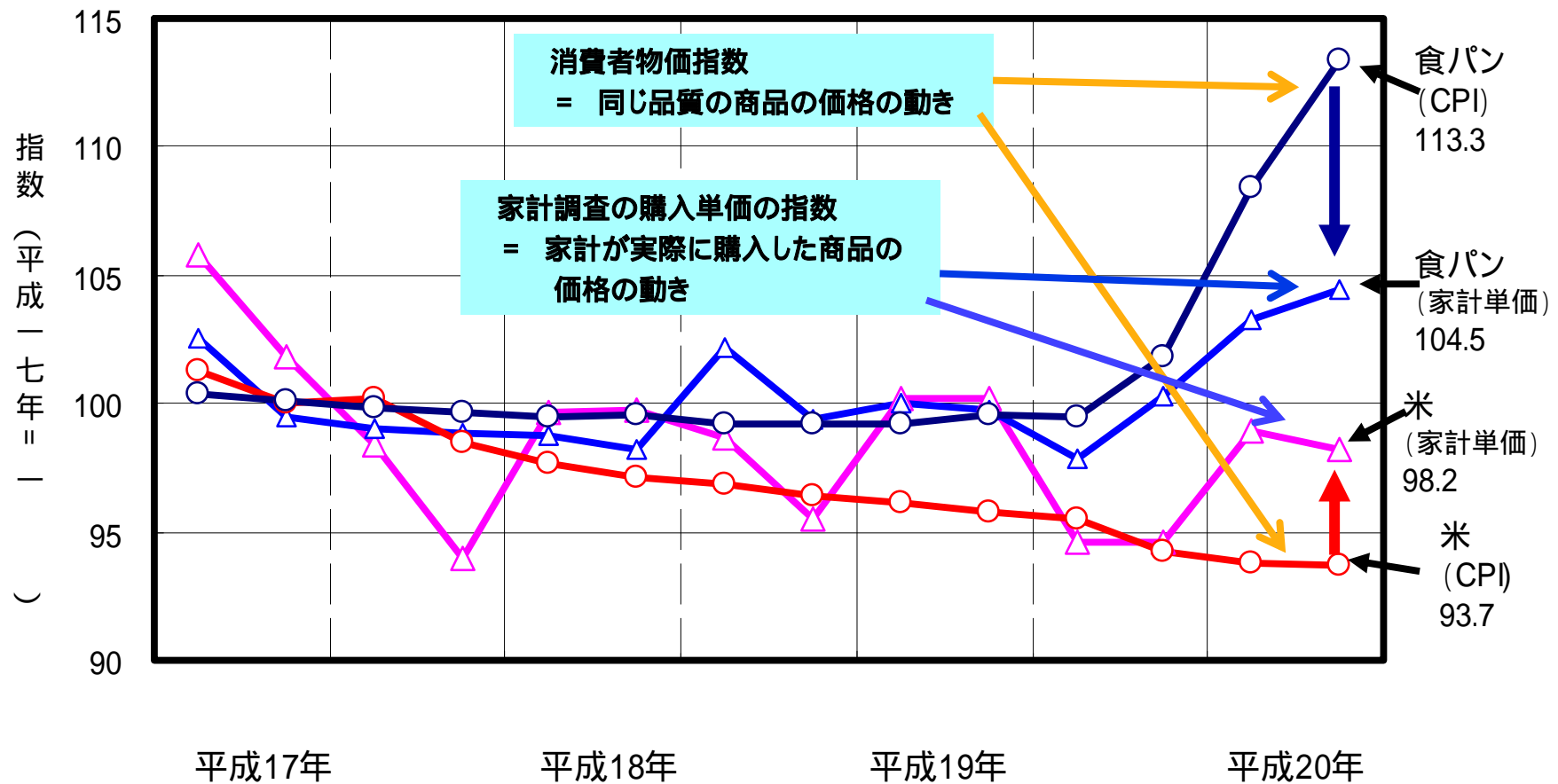
二人以上世帯の購入する米の数量の変化(対前年同月比)



(注) ここでは、米の購入数量(kg単位)の月次データの後方12ヶ月移動平均をとり、その対前年同月比を計算した。

物価上昇の中で安価な商品を購入する消費者

値上がりしているパンは安めの品を買い、値下がりしている米は高めの品を買っている。

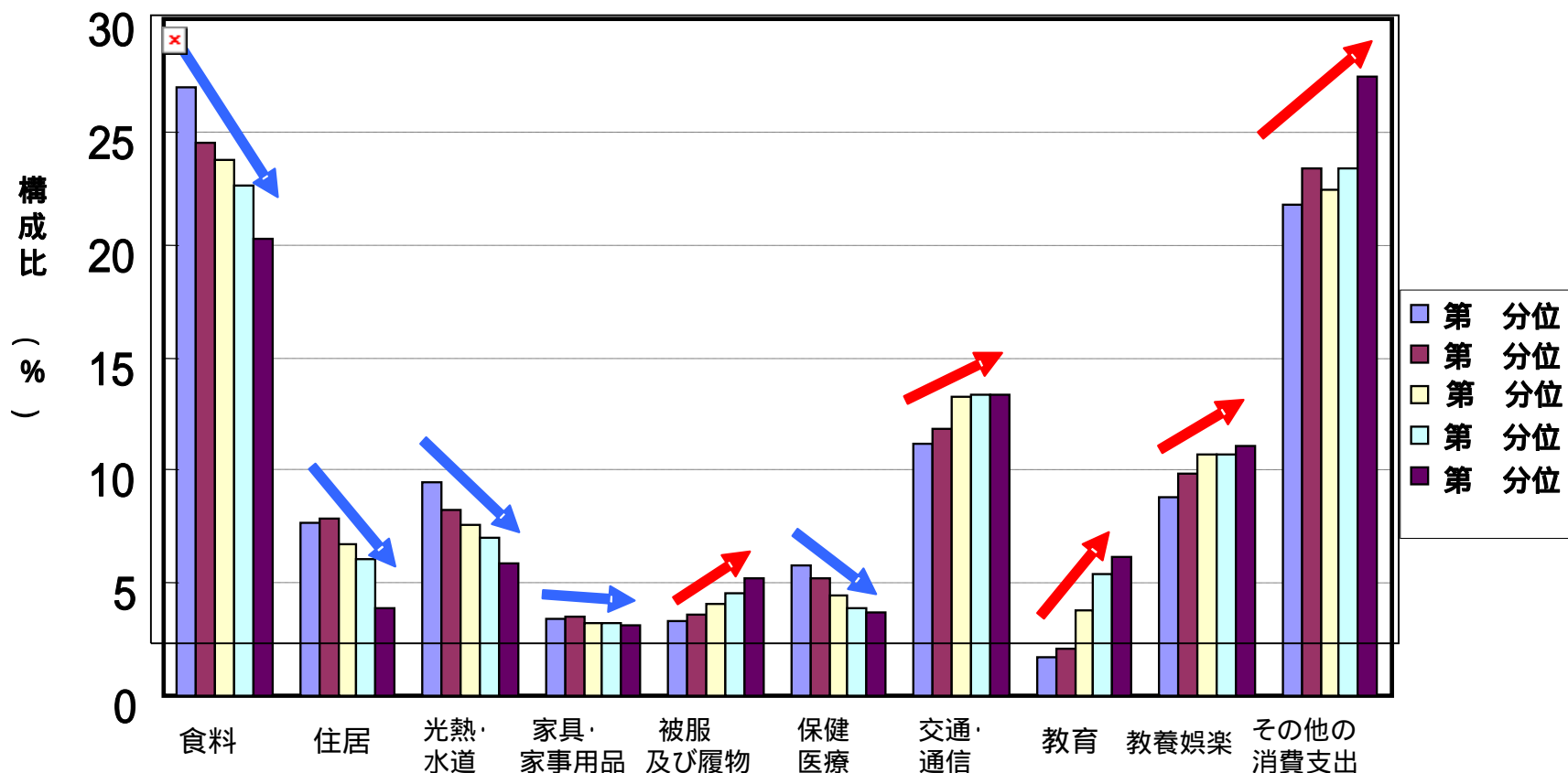


注 「CPI」は、消費者物価指数の各四半期(3ヶ月)の単純平均。

「家計単価」は、家計調査の四半期(3ヶ月)分の支出金額合計を購入数量で除した値を指数化したもの。

年間収入が高いほど食料費の割合は低下、教養娯楽費の割合は上昇

世帯の年間収入五分位階級別にみた家計消費の費目別構成比

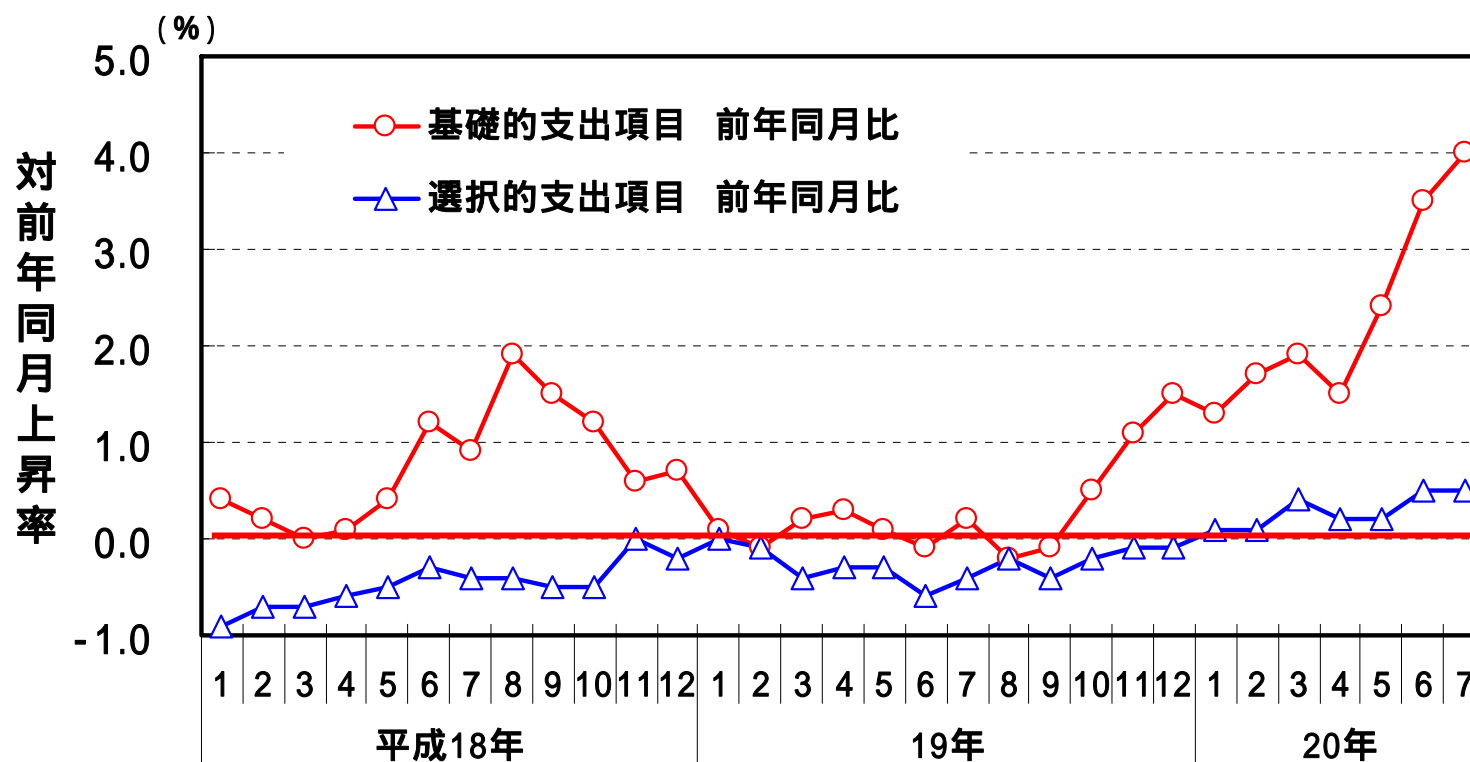


(注) 年間収入が高いほど構成比が高い費目には赤の矢印(→)を、その逆の費目には青の矢印(←)を付した。

→家計調査のデータを分析すると、家計支出の内訳を統計的に「必需品」(基礎的支出)と「ぜいたく品」(選択的支出)とに分類できる。

支出項目を「基礎的支出」と「選択的支出」に分けて分析 - 基礎的支出は4.0%、選択的支出は0.5%の上昇 -

消費者物価指数 基礎的・選択的支出項目 前年同月比の推移



(注) 基礎的支出、選択的支出とは、家計調査のデータを基に、消費支出に対する品目別支出額の弾力性を計算し、弾力性の値をもとに品目ごとの支出を分類したもの。

基礎的支出とは、弾力性が0以上1未満のものをいい、選択的支出とは、弾力性が1以上のものをいう。

(3) 様々な統計をよりよく活用するために

- **全体の平均だけでなく、内訳も調べてみる。**
(地域別、世帯の種類別、費目別など)
 - ✳ 全体が均質とは限らず、すべてが同じ動きをするとは限らない。
 - ✳ 全体とは異なる動きをするデータの中に大事な情報が含まれていることがある。
- **異なる統計・項目の間の関係を調べる。**
 - ✳ 異なる項目の間の関係をみつける。
 - ✳ (例 物価の変化 vs 購入数量の変化 年間収入 vs 費目別支出額の構成 など)
- **統計調査の方法、調査事項、統計の定義などを確認する。**
 - ✳ 調査の対象範囲、調査の時期、調査方法、調査票、用語の定義などは必ず確認を。
 - ✳ 標本調査の場合、標本規模や標本誤差の大きさも重要。
- **統計データを効率的に探す。**
 - ✳ 「政府統計の総合窓口 (e-Stat)」を活用。地理情報システムなど多彩な機能も提供。

2 統計の見方・使い方 - 統計の活用

政府統計の総合窓口 (e-Stat)

政府統計の総合窓口 GL01010101 - Windows Internet Explorer
 http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do

e-Stat 政府統計の総合窓口 サイトマップ お問い合わせ ヘルプ

日本の統計が閲覧できる
政府統計ポータルサイト

各府省等からのお知らせ ユーザ登録 ログイン アンケート English

統計データを 探す ?

キーワードで探す
 統計分野で探す
 作成機関名で探す

地図や図表で 見る ?

- 図表で見る日本の主要指標
- 都道府県・市区町村のすがた
- 地図で見る統計(統計GIS)
- 統計年鑑等の統計書

調査項目を 調べる ?

- 統計に用いる分類(産業、職業等)・用語
- 市区町村名・コード
- 調査項目を探す

統計制度を 知る ?

- 日本の統計制度
- 統計委員会(平成19年10月～)
- 統計審議会(平成19年9月まで)

統計を 学ぶ ?

- 統計学習サイト
- 統計関係書籍検索

統計サイト検索・リンク集 ?

- 各府省等の統計サイトから探す
- 統計関係リンク集

NEW 統計データ新着情報 一覧表示

8月29日	総務省	平成17年国勢調査(抽出調査票による就業者の産業(小分類)、職業(小分類)など(抽出詳細集計) 都道府県...	概要等
8月29日	国土交通省	建築着工統計調査 月次-2008年7月	概要等
8月29日	国土交通省	住宅着工統計 月次-2008年7月	概要等
8月29日	国土交通省	建設工事受注動態統計調査(速報) 月次-2008年7月	概要等
8月29日	国土交通省	建設工事受注動態統計調査(速報) 月次-2008年7月	概要等

公表予定 一覧表示

8月末	法務省	婦人補導統計調査 年報(平成19年)
8月末	法務省	矯正統計調査 年報(平成19年)
9月	総務省	地域メッシュ統計 平成18年事業所・企業統計調査に関するメッシュ統計(世界測地系)の集計
9月	厚生労働省	人口動態調査 平成19年(確定数)
9月	厚生労働省	人口動態調査 平成20年(4月分、7日分)

インターネット 80%

3 国民の共有財産としての統計

社会で広く活用される統計 - 統計の利用例

政治・行政、民間企業、国民生活などで広く活用

統計情報サイクルと国の役割

なぜ政府が統計を作るのか？

統計を社会で活かすために

行政における統計の利用例 - 地方交付税の配分基準

地方交付税法 普通交付税 = 基準財政需要額 - 基準財政収入額
 = (単位費用 × 数値)の合計

単位費用の例

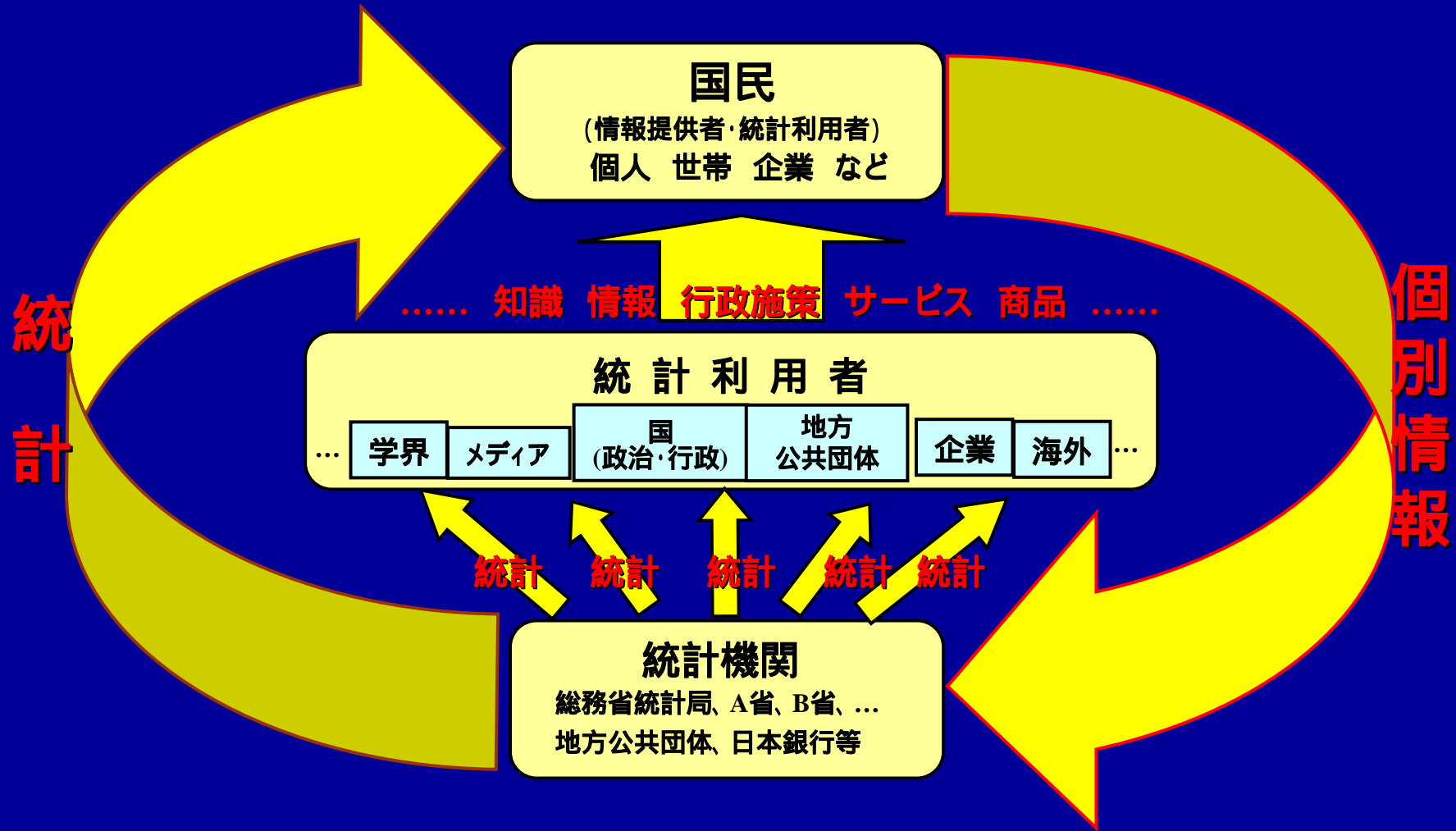
地方交付税法 別表第一(第十二条第四項関係) 道府県の基準財政需要の算定基準(抜粋)		
経費の種類	測定単位	単位費用
一 警察費	警察職員数	略
二 土木費		略
1 ~ 4	道路の面積、河川の延長など	略
4 その他の土木費	人口	1,660円/人
三 教育費		
1 ~ 4	教職員数、生徒数など	略
5 その他の教育費	人口	1,850円/人
	児童・生徒数、学生数など	略
四 厚生労働費		
1 生活保護費	町村部人口	6,630円/人
2 社会福祉費	人口	9,330円/人
3 衛生費	人口	10,800円/人
4 高齢者保健福祉費	65歳以上人口	45,500円/人
	75歳以上人口	91,000円/人
5 労働費	人口	554円/人
五 産業経済費		
1 ~ 3	農家数、林野面積など	略
4 商工行政費	人口	2,070円/人
六 総務費		
1 徴税費	世帯数	7,980円/世帯
2 恩給費	恩給受給権者数	略
3 地域振興費	人口	629円/人
七 ~ 十五(略)	略	略

地方交付税法では、
 基準財政需要額の
 算定に用いる「人口」
 は国勢調査によるも
 のとされている。
 < - - - 客観的
 で正確な統計に
 よって決定

人口が1人増えると、
 地方交付税が
 10万円から20万円
 増える計算になる。

統計情報サイクル

統計はどのように作られ、社会に活用されるか



なぜ政府が統計を作るのか？

- ・ 統計は行政に必要なだから
 - ・ 統計は企業活動など民間でも必要だから
 - ・ 統計は国民が国の実情を知るために必要だから
- = 公共のための統計を作るには、公的な統計制度が必要
そのために……
- ・ 統計調査の実施、秘密保護などについて法律で規定(統計法)
 - ・ 統計の専門機関を設置(総務省統計局ほか各府省)

参考・・・Statistics(統計)の語源はState(国家)
国勢調査のルーツは古代ローマの「センサス」

統計法における目的と理念

昭和22年に制定、平成19年に抜本改正、平成21年に全面施行

第1条（目的）

- ・公的統計は、国民の合理的な意思決定の基盤となる重要な情報体系的・効率的整備 - - - > 経済の健全な発展、生活の向上に寄与

第3条（理念）

公的統計は、行政機関等の相互の協力・役割分担の下、体系的に整備

公的統計は、適切・合理的な方法により、中立性・信頼性を確保

公的統計は、国民が容易に入手し、効果的に利用できるよう提供

公的統計の作成に用いられた個人・法人等の秘密を保護

総務省統計局・政策統括官(統計基準担当)の 使命と行動指針

私たちの使命 - 何を目指しているのか

総務省統計局・政策統括官(統計基準担当)は、統計法などの関係法令に基づき統計に関する総合的な調整と国勢の基本に関する統計の作成・提供を行うなど、我が国の統計機構にあって中核的な役割を担っています。

私たちは、社会経済情勢の変化に対応した有用で信頼される統計を体系的に整備し、適時的確に提供することを通じて、行政施策の企画・立案・評価、国民・事業者などの合理的な意思決定や真理の探求を助け、国民生活の向上や社会経済の発展に貢献することを目指しています。

私たちの行動指針 - 使命を達成するために

私たちは、統計の利用者や調査の対象となる方などの声に耳を傾けながら、以下に掲げる行動指針を心に刻み、よりよい統計づくりのために、たゆまぬ努力を重ねていきます。

- ・ 社会に役立つ、客観的で正確な統計を追及します。
- ・ 多様な利用者に利用しやすい形で統計を提供します。
- ・ 調査の対象となる方の秘密の保護に万全を期します。
- ・ 調査の対象となる方の負担に常に心を配ります。
- ・ 高度の専門性を備え、内外の統計の発展に尽くします。
- ・ 政府の横断的な調整を通じて統計の体系的な整備に努めます。

まとめ - 統計を社会で活かすために

- 社会経済の公正かつ効率的な運営には、「統計情報サイクル」の確立が不可欠。
- 「統計情報サイクル」の中核を担う統計機関は、国民・統計利用者の声に耳を傾け、有用かつ正確で信頼できる統計を整備する必要
- 統計利用者には、統計の見方・使い方について適切な知識・理解が必要(統計リテラシー)
- 「統計情報サイクル」の確立には、国民の理解・支持が不可欠
- 統計の進歩・普及には、統計に関する研究開発、統計リテラシーの普及などの面で学界の役割が重要

おわり

この資料の作成には、下記のウェブサイトを使用しました。

総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/>

政府統計の総合窓口 <http://www.e-stat.go.jp/>

(「政府統計の総合窓口」は、各府省等の参画のもと、総務省統計局が中心となり開発を行い、独立行政法人統計センターが運用管理を行っているサイトです。)